

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	社会福祉費事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	01	01	09	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	社会福祉課職員	意図	社会福祉課職員の事務を円滑にし、事務処理経費を削減し、事務の効率化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉課全般の経費 臨時職員賃金、旅費、事務用消耗品、新聞購読料、通知用封筒印刷、コピー機使用料等、社会福祉課の事務に要する経費の支出。 負担金の支出 更生保護法人千葉県更生保護助成協会市町村負担金の支出。 			
事業開始から現在までの状況変化	急速な少子高齢化社会の進展により、日本の伝統的な家族の在り方や地域社会の絆のぜい弱化、社会的ひきこもりの増加、児童や高齢者への虐待、年間3万人近い自殺者問題、景気の後退による失業者の急増等、地域の福祉問題が大きく変わり、福祉行政への期待が高まり事務量が急増している。事務量の増加に伴い、事務の効率化が急務である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,322,878	998,016	723,939			
事業費(b)(円)		1,322,878	998,016	723,939			
うち一般財源		1,322,878	998,016	723,939			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	引き続き節電やコピー使用量の削減に取り組み経費削減を図る。	③取組の課題	再任用職員の適正な事務量の配分。
②今年度(H27)に実施した取組	無駄な電気の消灯、紙の使用量削減に取り組んだ。	④今後の改善計画	事務量を精査し、正規職員の残業時間を短縮するため、適正な職員配置を考える正規職員の増員も検討していく。